

釈迦誕生図完成!!



前回まで2回にわたり何度かギャラリーニュースでご紹介して来ました木版画「釈迦誕生図」が遂に完成いたしました。縁あって「釈迦誕生図」を制作する運びとなり、様々な資料を読み識者に尋ね調べていくうちに仏教の本質の教えが脈々と伝わっていることに改めて感動しました。金剛峰寺所蔵の釈迦誕生図を参考にしながら、釈尊誕生の地をルンビニー園にし、摩耶夫人やお付の女性の姿をその時代のインドの衣装に、平坦な風景を物語風に立体的に描き色彩も私なりに表現いたしました。仏教と繋がりが深い木版画で本作品を制作出来たことは、日本の歴史にも残る大変意義のある仕事になったと感じると共に、仏教の本質の教えを絵解きとして多くの方々に伝える役目も果たせればと心から願っております。木版画「釈迦誕生図」ぜひご覧ください!!

井堂雅夫



木版画『釈迦誕生図』

『釈迦誕生図』 絵解き

① お釈迦様誕生



画面中央に、誕生したばかりのお釈迦様が、
右手を天に左手を地に『天上天下唯我独尊』
と獅子吼した姿を表しています。

『天上天下唯我独尊』は唐の僧玄奘(三蔵法師)が記した大唐西域記に登場します。その大唐西域記には、『天上天下唯我独尊 今茲而往生分己尽』と記されています。本来は16字からなる文章なのですが、後半の8字がほとんど知られていないため、まるでお釈迦様が思い上がったことを生まれてきた時に言ったように感じられてしまうのです。この16字を簡単に訳すと「この世界の中で、自分が一番尊いものである。なぜなら、これが最後の生であり再び迷いの世界に流転しないからである」という意味になります。また、「欲界・色界・無色界の衆生はみな苦しんでいる。私はこの苦しんでいる衆生を安んずるために誕生したから、尊いのだ」と解釈されている場合もあります。即ち、人間として誕生されたお釈迦様は、広大な宇宙を前にすれば地球は砂粒にも満たないほど小さな存在で、その小さな地球でさえも150万種類いるとされる生き物の中から、人間として生まれて来ることの有難さを説いておられます。そして、この大宇宙の中で独尊と言われる我々人間だけになしうる尊い使命があるとされています。

※獅子吼… お釈迦様が誕生した直後に言葉を発したことを表現して使う言葉

② 四方七歩



獅子吼の直前に、東西南北にそれぞれ七歩ずつ歩いた様で、「四方七歩の宣言」ともいわれ、この言葉を理解することは仏教精神を理解することにつながるといわれています。四方とは、東西南北4つの方角を指しますが、もっと広い意味で捉えると全ての場所や空間をいいます。すべての存在を分け隔てることなく平等に見つめ、人々に安らぎの教えを伝えようと決意したといえます。そして、七歩とは、お釈迦様が苦悩に満ちた6つの世界(六道界)を生きながらにして超越していることを指しています。この「四方七歩の宣言」から、お釈迦様の生まれながらの人知を超えた超越性と一切のものを救う法を教え広めるという固い決意を読み取ることができます。また、お釈迦様が、七歩で歩かれた足跡には蓮の花が咲いたといわれています。

※六道界(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上)

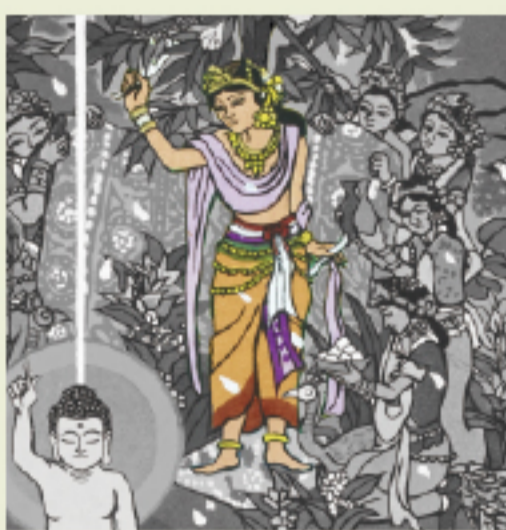
③ 男女二人



お祝いに掛けつけた人々の中に、二人の男女が描かれています。この男女は、本作品を描いた井堂雅夫が、お釈迦様の誕生の際に当時の服装で自分自身もその場に立ち会いたいという想いと、この図をご覧になっていただいている貴方に立ち会って欲しいという願いが込められています。これは、単なる遊び心というだけではなく、私たち誰もがお釈迦様の教えの恩恵を平等に受けられることを表しています。

まやぶにん

④ 麻耶夫人



ある夜、六つの牙を持つ白象(聖獣)が天より降りて右脇より体内に入る夢を見て懐妊しました。出産のために里帰りの途中に立ち寄ったルンビニ一園で、無憂樹の花を手折ろうとしたところ、右脇からお釈迦様が誕生されました。

とそつてん

⑤ 兜率天



お釈迦様がおられた特別な場所で、仏となるべきして生まれてくる者は、皆その直前の生をここで過ごすといわれています。向って右が内院と呼ばれ七宝の宮殿があり、多くの諸天が住んでいます。また、向って左が外院と呼ばれ天衆が住んでおり、この天界の1日は人間界の400年に相当します。釈迦が亡くなってから五十六億七千万年後にこの世にあらわれ、生きとし生けるものを救って下さるといふ弥勒菩薩が今おられるのもここです。

かんすい

⑥ 二龍の灌水



難陀竜王と優波難陀竜王が、産湯のために清浄なる温水と冷水を注ぎ、お釈迦様の身を清め、お釈迦様の誕生を祝福しました。今日、寺院ではお釈迦様の立像に甘茶を注ぐ儀式を行っています。

⑦ 五人の神々



お釈迦様が悟りを開いた後に、その悟りを広めようとした梵天と、慈悲深く柔和な神としてお釈迦様を助け、命あるものを全て見守って下さる帝釈天ら五人の神々。

⑧ 四天王



帝釈天に仕え、それぞれ東西南北の方位を守護している持国天、増長天、広目天、多聞天。

⑨ 宝台(宝床)



四天王が、生まれて間もないお釈迦様を置いたという金色の机を表しています。

10 伏蔵



地中に埋めてある宝の蔵のことをいい、お釈迦様が誕生された際に、自ら発出したとされます。日本では、法隆寺の七不思議と知られる伏蔵が有名で、法隆寺の重大な危機が訪れた時に聖徳太子の願いが込められている伝説の伏蔵を開いて、その危機を切り抜けるとされています。

11 地涌の菩薩



土を生き生きとさせる多様無量の土壌中の微生物達こそ、目に見えぬ菩薩達です。無数の生き物達が菩薩として、大地の底から湧き出たので地涌の菩薩と言います。

12 各国の王達



中国の武官達としても表していますが、戦いにあけていた人達にも、お釈迦様の慈悲が注がれますように描かれています。

13 日本人達



合掌して座る五人の足元には、狩りや釣りの道具を置き、生きものを殺すことを仕事にしている者も、生きものに対する哀れみの心をおこした様を表しています。

14 獅子と白象



祝福に訪れた五百頭の獅子と五百頭の白象を、代表して五頭で表しています。獅子は古来百獣の王とされ、称えて獅子王とも呼ばれました。また白象は平和の象徴とされ、神聖視されてきました。

15 霊水



ヒマラヤ連峰八千メートル級の山々から流れ落ちる霊水は、ネパール全土を網の目のように流れ落ち、やがて平原に下ってインドに入りゆったりとした大河となって大海に流れています。産後の麻耶夫人が体を清めた小川でもあります。

16 瑞雲



めでたいことの前兆として現れる雲。お釈迦様が誕生された時に瑞雲がたなびきました。

17 宝蓮花



この大蓮華も、お釈迦様が誕生を祝って現れた三十二とも三十四ともいわれる瑞相ずいそうのひとつで、ルンビニーの池に咲き誇りました。

18 無憂樹



仏教の三大聖木のひとつで、アショークというマメ科の植物です。お釈迦様誕生の花と知られ、何の心配もなく安らかにお釈迦様を出産したことから、後に無憂樹と名付けられたそうです。

19 菩提樹



仏教の三大聖木のひとつで、クワ科の印度菩提樹のことです。お釈迦様が菩提樹の下で悟りを開いたと知られています。

20 紗羅の樹



仏教の三大聖木のひとつで、インドにおける紗羅の樹はインド原産のフタバガキ科の常緑樹で、高さは30mにもなり、花は小型の淡黄色で芳香があるそうです。

21 散華



散華とはお釈迦様をお迎えする時に、歓迎の意を表すため、華を降らしたという故事にちなんで行われます。現在、寺院で法要を厳修する時に、諸仏を供養するために華が撒かれます。法要に散華を行うのは、華の芳香によって悪い鬼神などを退却させ、道場を清めて仏を迎えるためとされます。ここでは、無憂樹の華で表現しています

22 優曇華の花



インドでは、三千年に一度咲く花として、この花が咲くと吉兆の証しとされています。





花巻文化村の仲間たち

2015年4月5日花巻文化村 リニューアルオープン!!

文化村を愛する新しい仲間達の参加により「杜のギャラリー」として井堂雅夫の常設展をはじめ他作家の発表の場として地元文化の活性化をめざして再スタートいたしました。岩手、花巻の自然の中でごゆっくりお過ごし下さい。

花巻文化村 〒025-0004 岩手県花巻市葛8-283-1
杜のギャラリー ☎0198-26-2773
■ 水曜定休日 午前10時～午後5時迄

井堂雅夫 琳派展 開催!

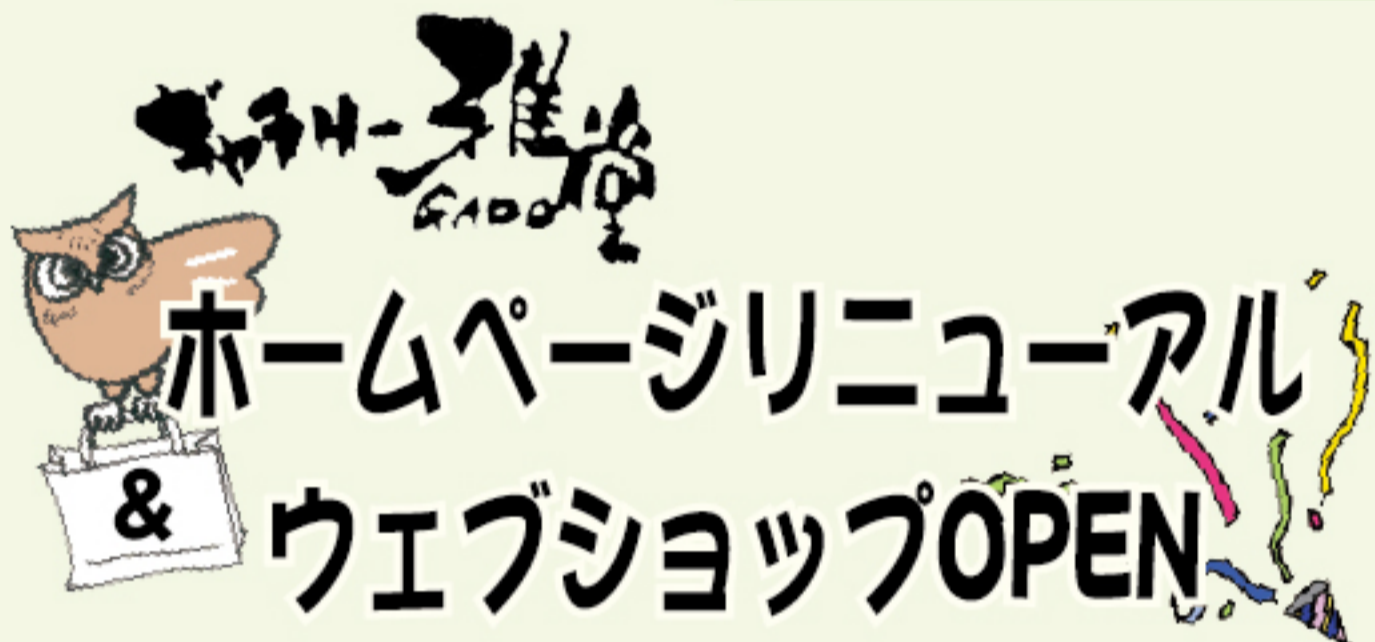


今年は、琳派の創始者である本阿弥光悦が、京都の鷹峯に「光悦村」を拓いてから記念すべき400年の節目の年です。十代の頃より、多大な琳派の影響を受けている染織からスタートした井堂雅夫の、半世紀以上に亘る独自の井堂琳派展を開催致します。

井堂雅夫琳派展
2015年11月8日(日)～15日(日)
京都文化博物館6階 京都市中京区三条高倉

このたび島津製作所様の創業140周年の記念品を、井堂雅夫のオリジナル木版画で制作させていただきました。春の高瀬川越しに見える、島津製作所日本店が描かれております。日本が世界に誇るものづくり企業である島津製作所様の記念の折に、井堂雅夫が40年以上もの間情熱を注いできた伝統芸術木版画で記念品を制作させていただけた事は、作家スタッフ共々、大変意義を感じ、励みとなりました。

木版画 「島津製作所創業の地」



今年の3月、雅堂のホームページがリニューアルされました。井堂雅夫の現在までの活動や、木版画の工程まで、詳しく掲載されています。同時にオープンしたウェブショップでは、国内はもちろん世界中の国から簡単にご購入をいただけるようになりました。掲載作品も大幅に増え、どんどん追加掲載中

です。インターネットをお使いになれる方はぜひご利用ください。従来通り、お電話やメールでのお問い合わせも受け付けておりますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

もちろんギャラリーでは実際の木版画作品を、手に取ってご覧いただけます。お近くにお越しの際はぜひ来廊いただけますよう、作家スタッフ共々お待ちしております。



HPアドレス www.gado.jp

作品のお申込み・資料請求方法

作品のお申込みは電話・FAX
メール・HPから承ります。

● TEL **075-464-1655** ● FAX **075-464-0747**
(受付 10:00～18:00)

● Email **mokuhanga@gado.jp**

● URL **http://www.gado.jp**

木版画のパンフレットも多数ご用意しております。

お気軽にお問合せ下さい。

- ・ご注文受付後、通常1週間程度でお届けいたします。
- ・送料、全国一律 800円(税別)。
- ・お支払いは《郵便振替(振込手数料雅堂負担)/銀行振込/代金引換(作品お届け時に[クレジットカード]or[現金]でお支払)/分割払い(詳細はお問い合わせください)》よりお選び下さい。
- ・その他、贈り物用熨斗などお申し付けください。

アクセス



- ★JR「京都駅」から
 - ・市バス 50 番 《立命館大学前》行 《桜木町》下車/徒歩2分
 - ・市バス 205 番 《西ノ京円町・金閣寺道》行 《わら天神》下車/徒歩7分
- ★京阪「三条」から
 - ・市バス 12 番 《立命館大学前》行 《衣笠総門町》下車/バス停前
 - ・市バス 15 番 《立命館大学前》行 《桜木町》下車/徒歩 2 分
 - ・市バス 59 番 《竜安寺・山越》行 《衣笠総門町》下車/バス停前
- ★四条烏丸から
 - ・市バス 50 番 《立命館大学前》行 《桜木町》下車/徒歩 2 分

編集後記

今回の木版画「釈迦誕生図」を完成できたことは、すごく嬉しい反面、正直ほっとしてあります。と、言うのは、木版画業界の者なら、これほど大きな木版画を企画したりしないと思います。墨一色や十版ぐらいまでの色数ぐらいなら可能ですが、作品をご覧になってもうたらご理解していただけたらと思います。相当な色数です。基本、多色摺りの木版画は画面サイズが倍になれば倍の苦労だけでは済まないのです。その大変さは何倍にも膨れあがります。

また、今回の「釈迦誕生図」に携わって凄く為になったことがあります。井堂先生と一緒に、お釈迦様誕生の由来などを調べたり、識者の方にお話しを伺ったりして、お釈迦様の教えを少しだけでも触れたことです。特に印象深かったのが『盲亀浮木の譬』で、お釈迦様が弟子の阿難に「果てしなく広がる海の底に、百年に一度だけ海面に顔を出す盲目の亀が、浮かび上がった拍子に丸太棒の穴にひよいと頭を入れることが有るよりも、私たちが人間に生まれることは難しいことなんだ。有難いことなんだよ」と教えられています。それは、人として生まれることは奇跡のような事であり、すでにあなたは人として生まれている。この有難い奇跡に感謝し、今こそ、与えられた命を生き活きと喜んで一所懸命生きなさいとの言葉です。

よって、私たちの人生は無意味ではありません。とてつもない目的、意味があると思えました。

現在、自ら命を絶つ人や、世界に目を向けてもテロなどで平気で人の命を奪ったりしています。が、私はこの「釈迦誕生図」が絵解きとしての役目を果たし、お釈迦様の教えが脈々と伝わっていくことを願っています。

(市)